

大阪市に想定される被害

※発生確率は今後30年以内に地震が起こる予測値
(令和2年1月1日現在)

震度7	震度5強
震度6強	震度5弱
震度6弱	震度4以下

南海トラフ巨大地震

マグニチュード **9.0 ~ 9.1**

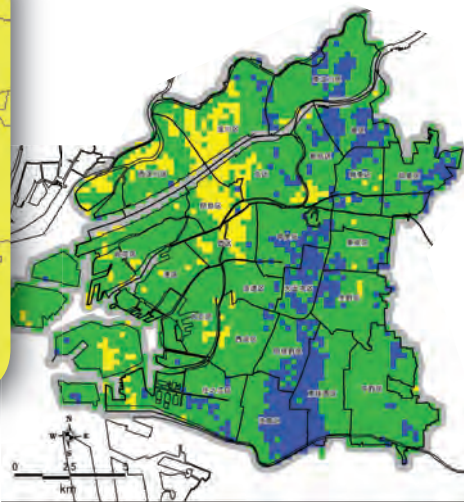
- 死者約12万人
- ※大部分は津波によるもので、避難が遅れた場合です。
(津波浸水想定は7ページ参照)
- 全半壊建物約296,000棟



東南海・南海地震

マグニチュード **7.9 ~ 8.6**
発生確率 **70% 程度**

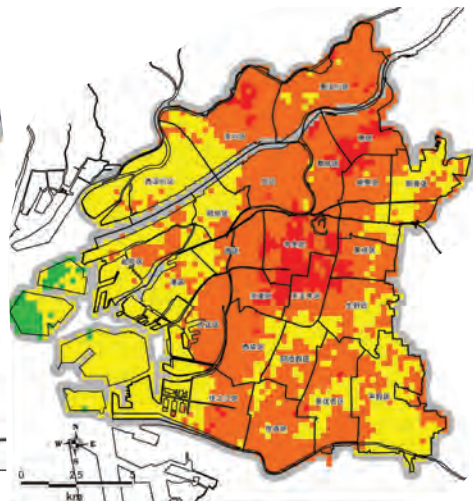
- 死者約100人
- 全半壊建物約26,200棟



上町断層帯地震

マグニチュード **7.5 ~ 7.8**
発生確率 **2 ~ 3%**
(活断層の中では発生確率の高いグループ)

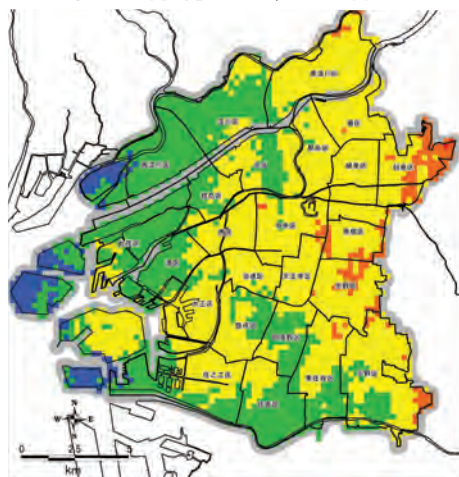
- 死者約8,500人
- 全半壊建物約276,700棟



生駒断層帯地震

マグニチュード **7.3 ~ 7.7**
発生確率 **0 ~ 0.2%**

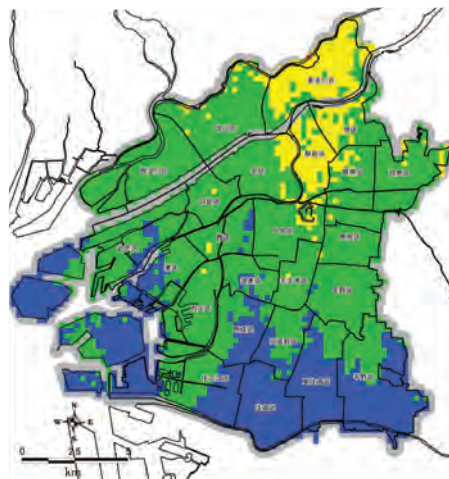
- 死者約1,400人
- 全半壊建物約135,100棟



有馬高槻断層帯地震

マグニチュード **7.3 ~ 7.7**
発生確率 **0 ~ 0.04%**

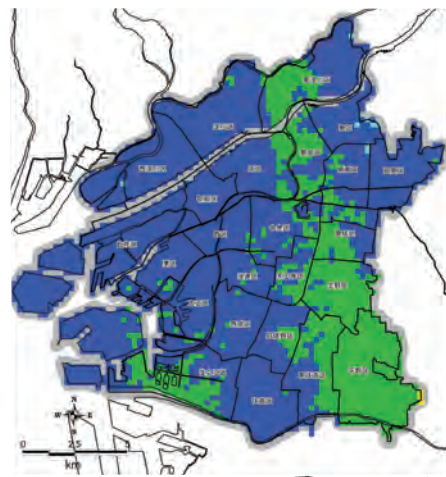
- 死者約100人
- 全半壊建物約14,400棟



中央構造線断層帯地震

マグニチュード **7.7 ~ 8.1**
発生確率 **0 ~ 12%**

- 死者0人
- 全半壊建物約2,400棟



震度6弱

- ・立っていることが困難になる
- ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある

震度6強

- ・はわないと動くことができない、飛ばされることもある
- ・耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる

震度7

- ・耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある
- ・耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる

